



鯛の鯛図鑑

第五卷

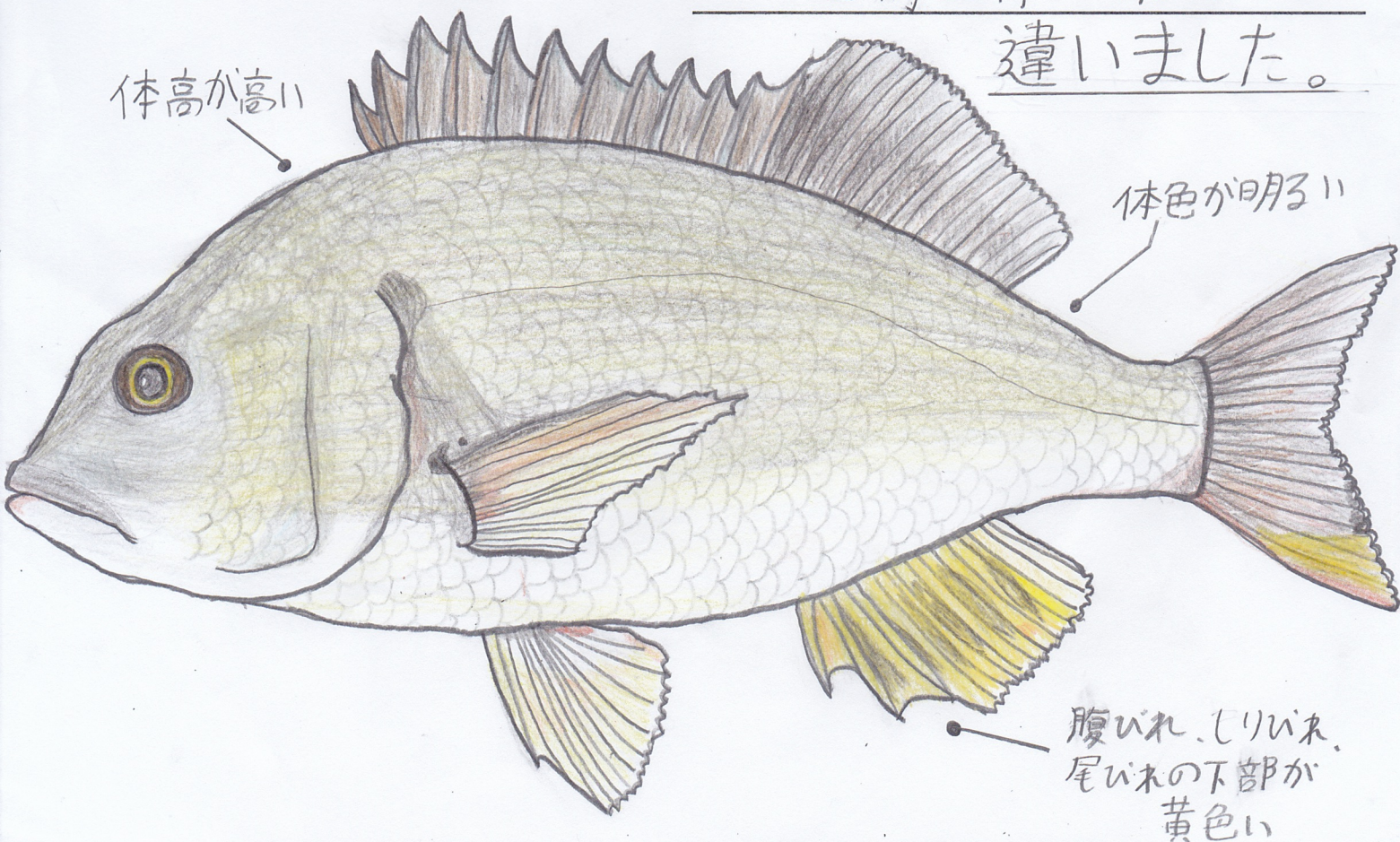
佐々木 蒼大

キチヌ

(スズキ目 タイ科)

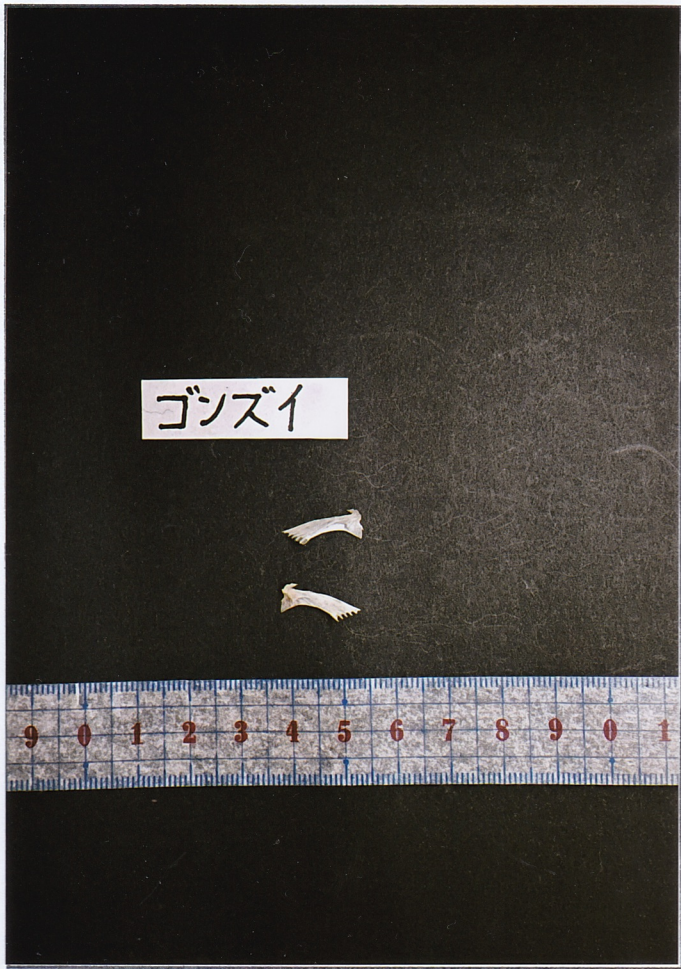


キチヌは、クロダイに似て、
腹びれとしりびれ、尾びれの下部
が黄色いため、この名が付き
ました(「チヌ」はクロダイの別名)。
クロダイとは、体高や
や体色、ひれの色、うろこの数
などで見分けられます。
キチヌは、性転換する
魚で、成長につれて両性
を持っている状態から、
メスの個体が増えます。
キチヌのキチヌは、クロ
ダイと烏口骨の形状が
違いました。



ゴズイ

(ナマス目ゴズイ科)



ゴズイは、背びれと胸びれに計3本のすどいとげが生えています。

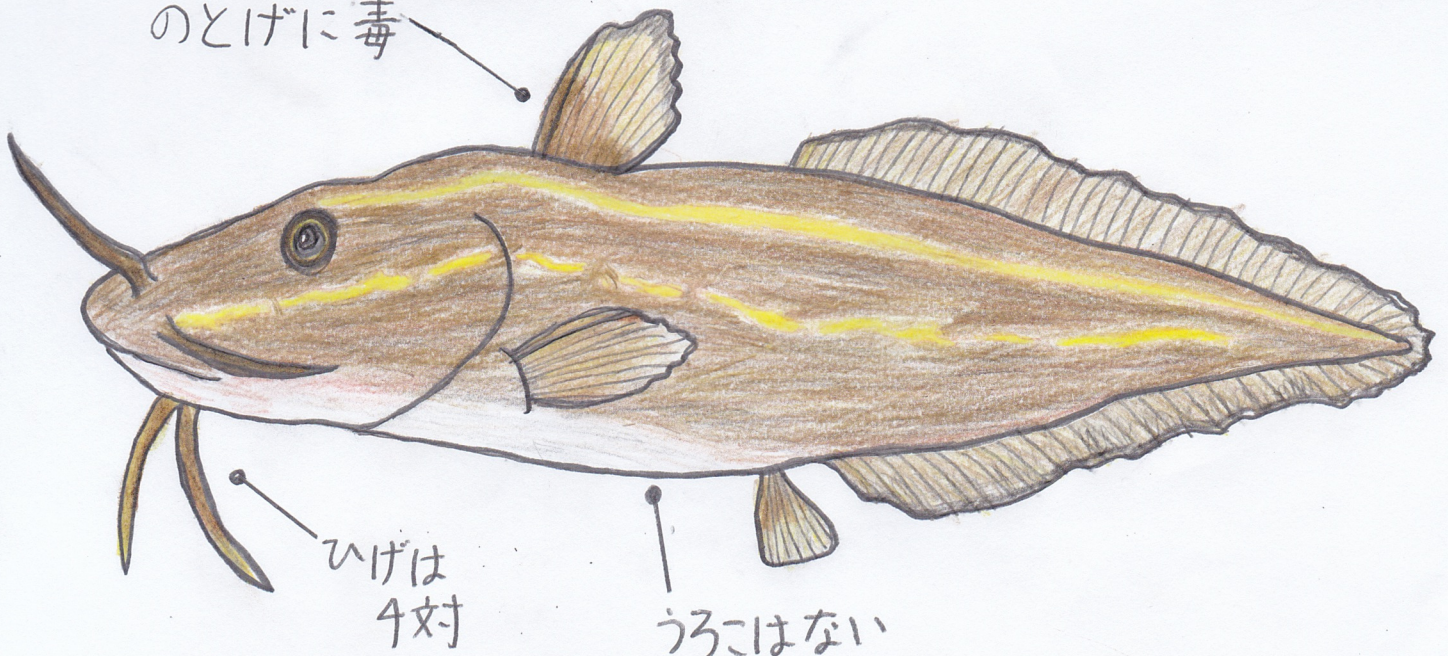
とげには毒があるため、触る時は注意が必要です。

幼魚の時は、外敵から身を守るために「ゴズイ玉」と呼ばれる数十匹～数百匹の群れを作ります。

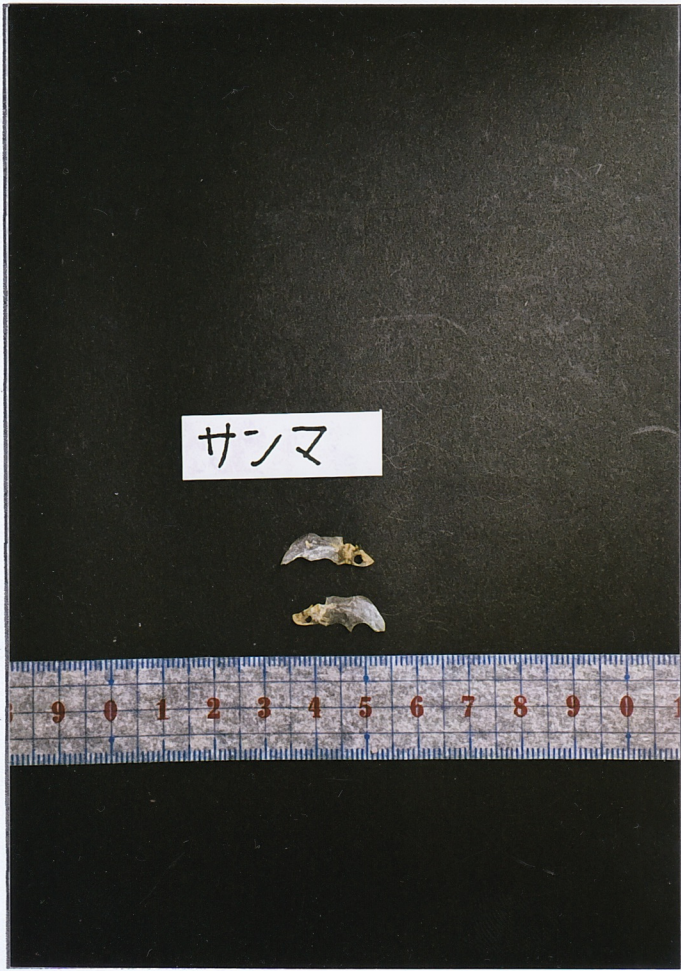
毒とげがあるため、敬遠されがちですが、とげを取りのぞいてみそ汁やかば焼きにするとおいしい

そうです。

背びれと胸びれのとげに毒

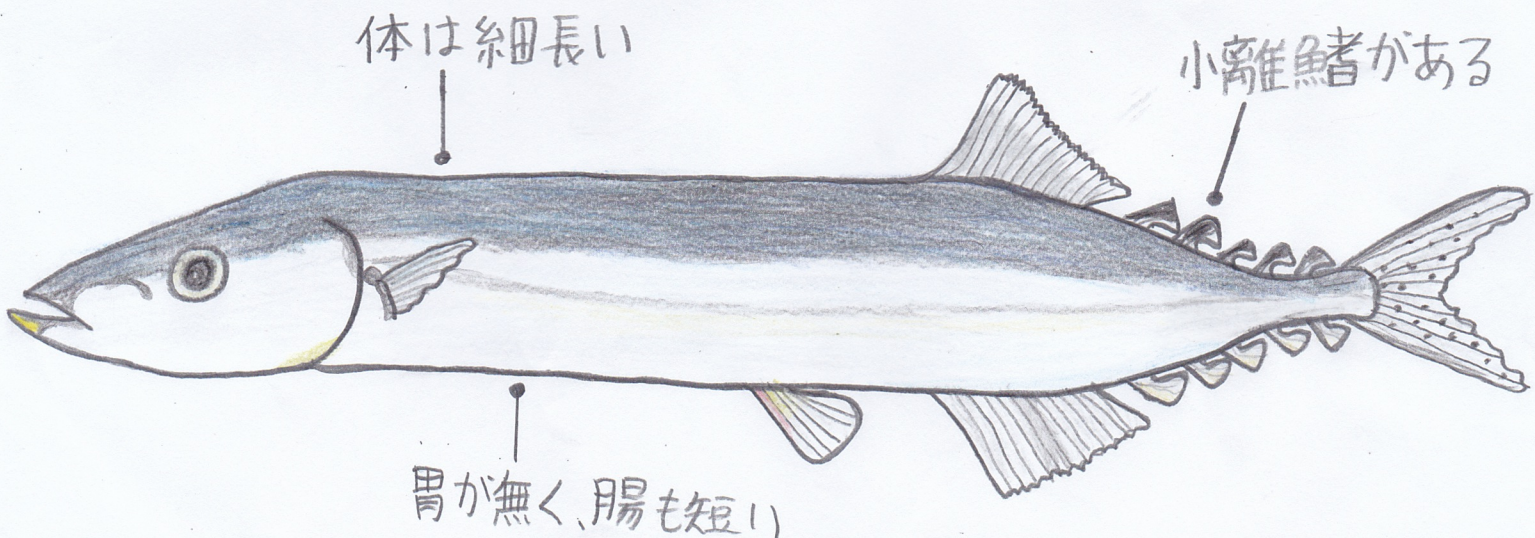


サンマ
(ダツ目 ダツ科)



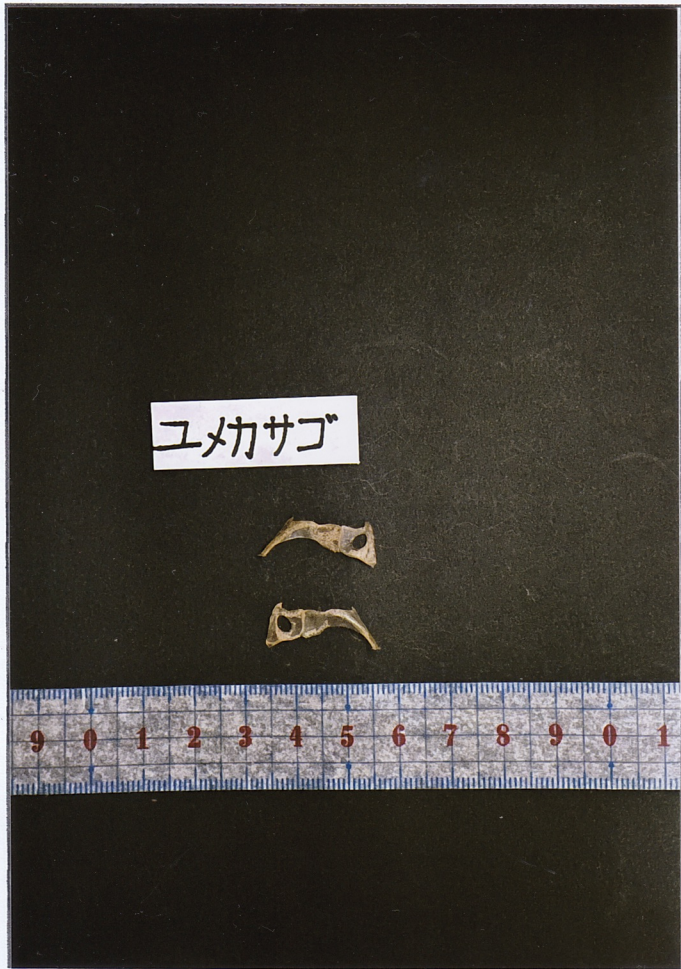
サンマは、「秋の味覚」としてなじみ深い魚です。ですがここ数年、海水温の上昇や外国の過剰漁獲などが原因で水揚量が大幅に減少しました。そのため、現在サンマは高級になりました。

サンマには胃が無く、腸も短いため、消化が早く、内臓が傷みにくいのです。塩焼きの他に、最近では刺身でも食べられるようになりました。



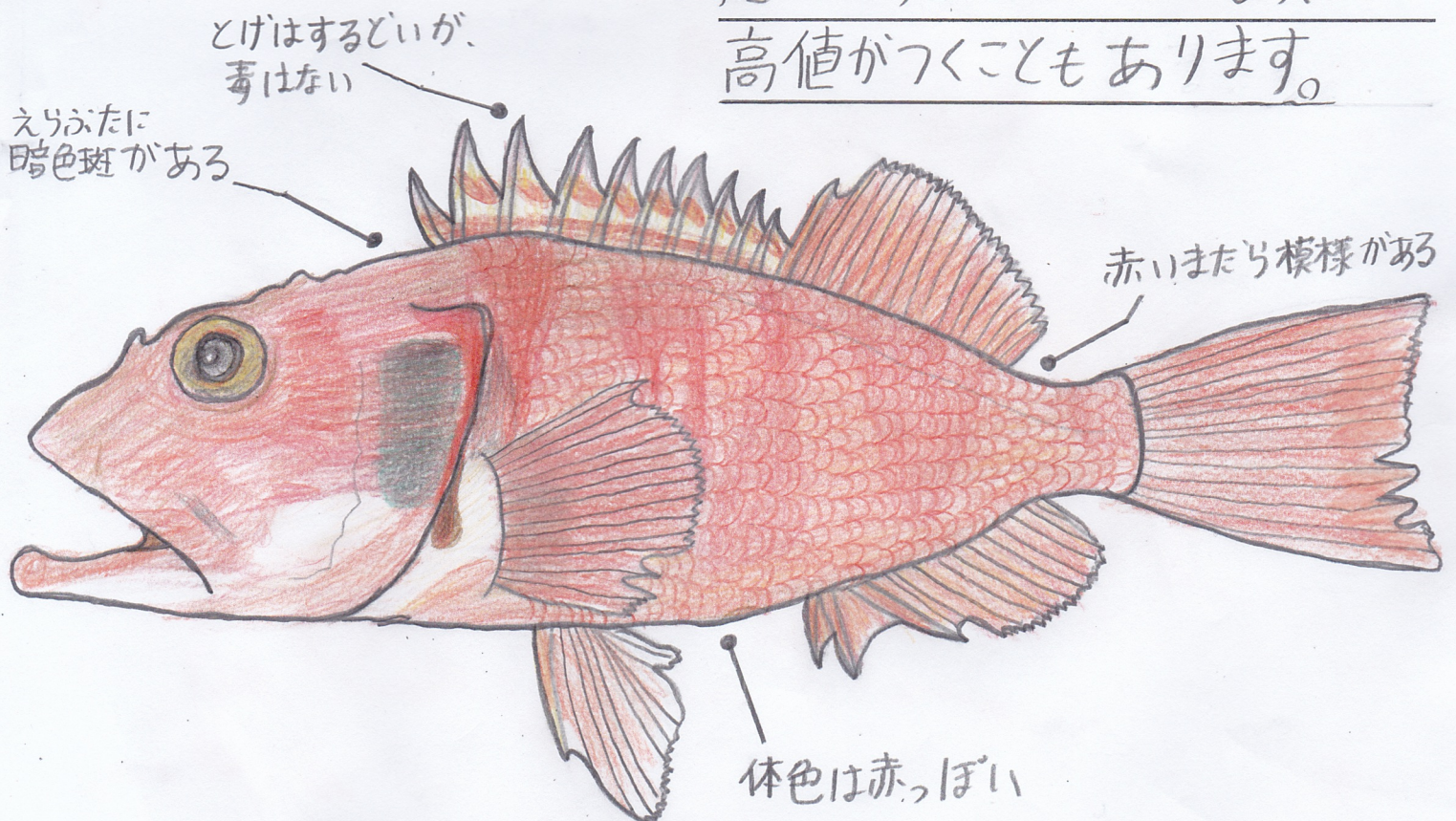
ユメカサゴ

(スズキ目 メバル科)



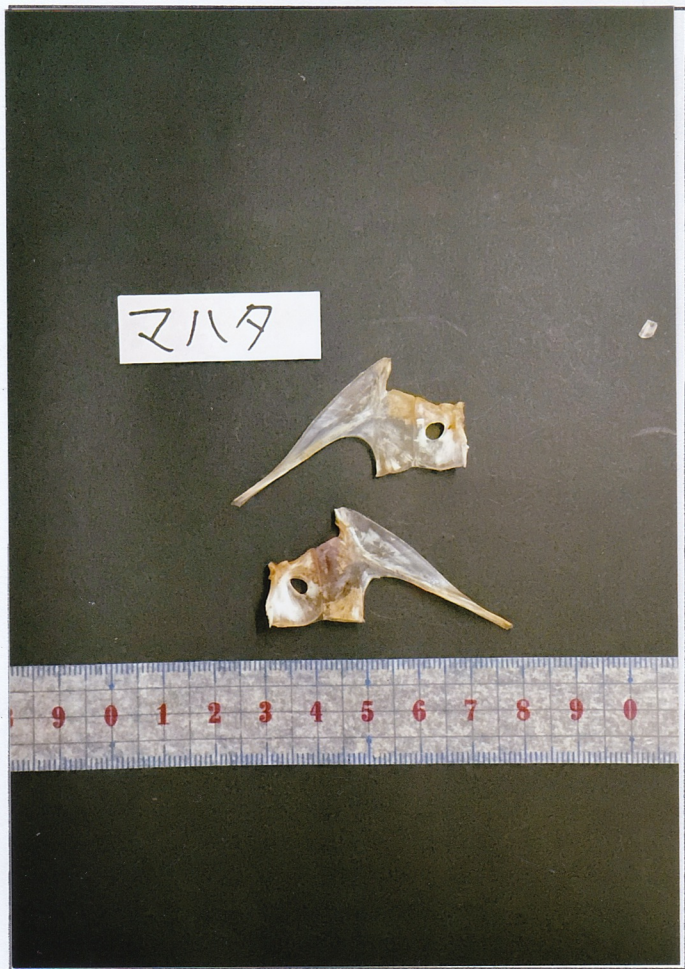
ユメカサゴ

ユメカサゴは、えりふたに暗色斑があることなどで他のカサゴと見分けられます。口の中が黒く、「リドグロ」と呼ばれますが、同じく「リドグロ」と呼ばれるアカムツとは近い仲間ではありません。毒はありませんが、ひれのとげはするどいです。30~40cmの個体がよく漁獲されていますが、深場には50cm以上の個体もいるそうです。脂がのっておいしいため、高値がつくこともあります。



マハタ

(スズキ目ハタ科)



マハタは、体に横じまがあるのが特徴です。

老成魚はこの模様がはきりしくなります。

最大で全長1m、100kg

以上まで成長するそうです。

見た目がそっくりな

マハタモトキとは、尾びれのふちの色などで見分けられます。

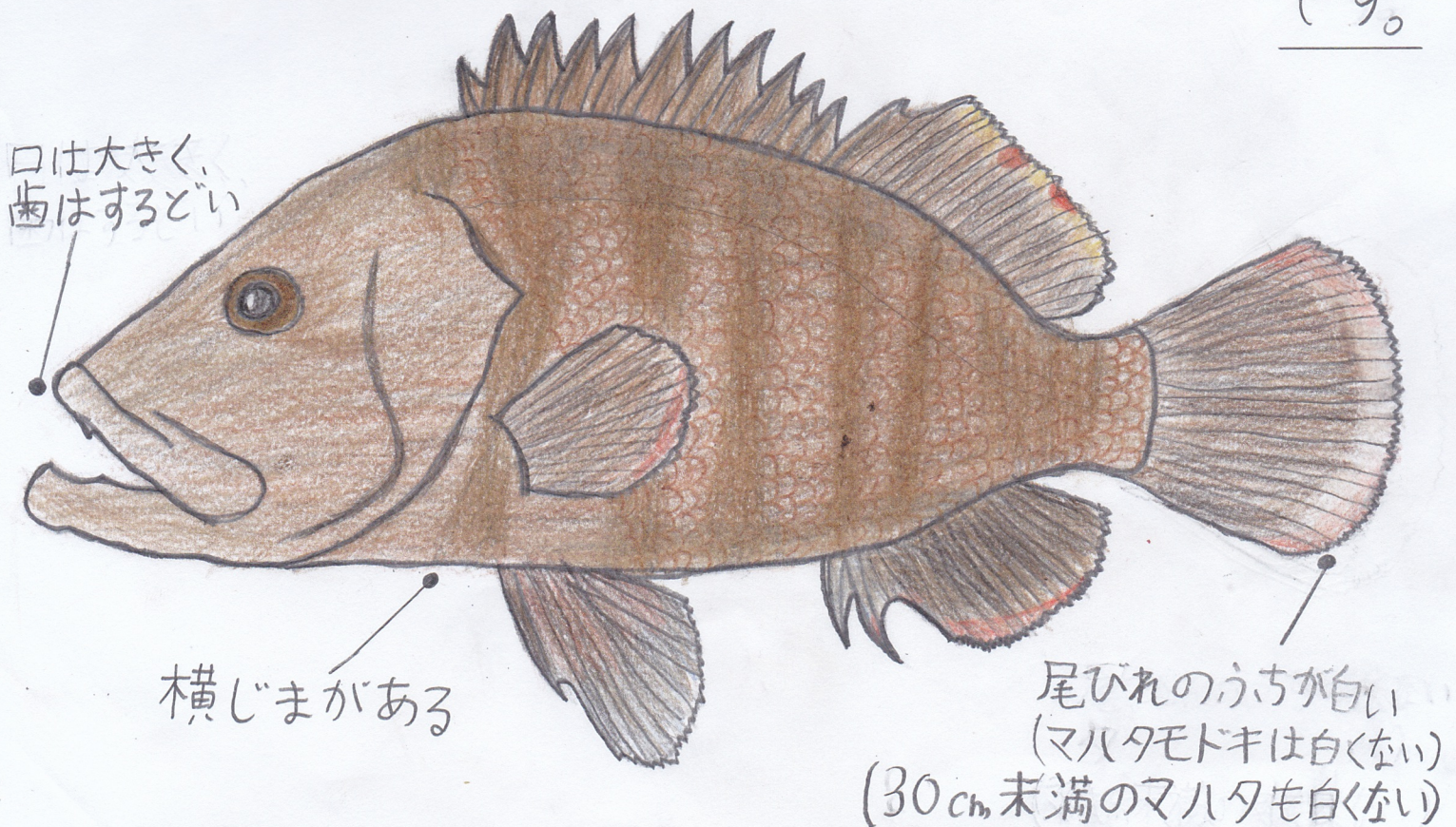
ハタの仲間の多くは

冬が旬ですが、マハタの旬は

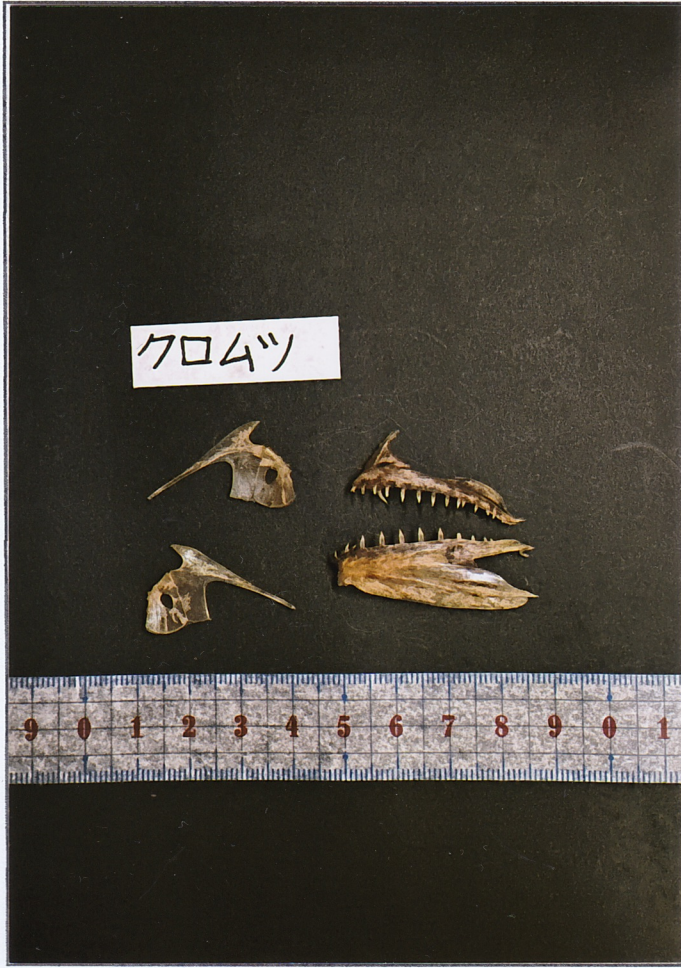
夏だそうです。高級魚で、

アウ煮はとてもおいしかった

です。



クロムツ
(スズキ目ムツ科)

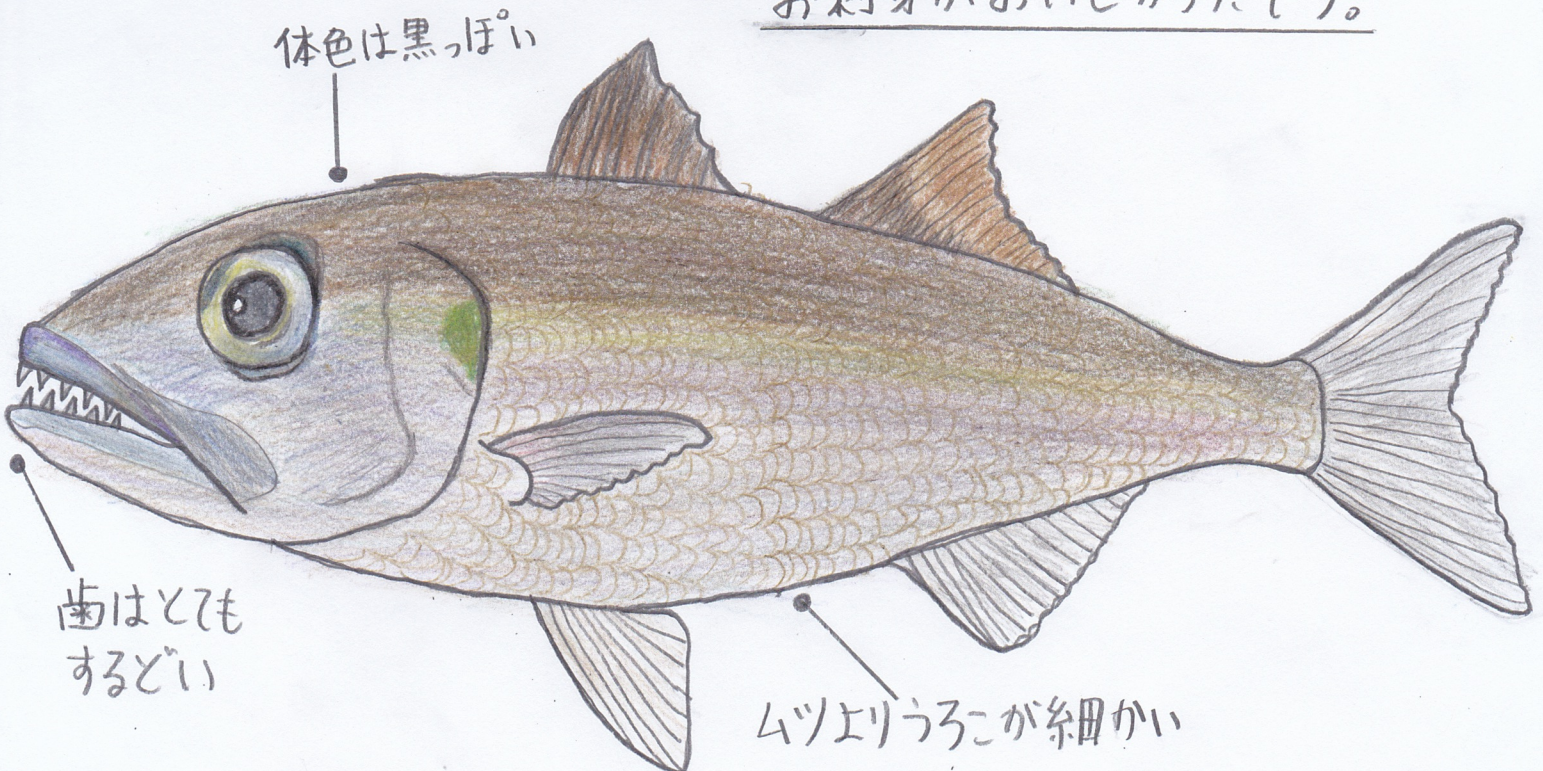


クロムツは、ムツに似てより
体色が黒っぽいため、この
名が付きました。ムツとは
体色やうろこの細かさ、
側線有孔鱗数(側線の
うろこのうち穴が空いたうろこの
数)などで見分けられます。

また、ムツよりも深い水深
に生息しています。

魚類などを食べる肉食性
の魚で、歯はとてもすどい
です。僕も写真を撮る時に
歯が指に刺さりました。

お刺身がおいしかったです。

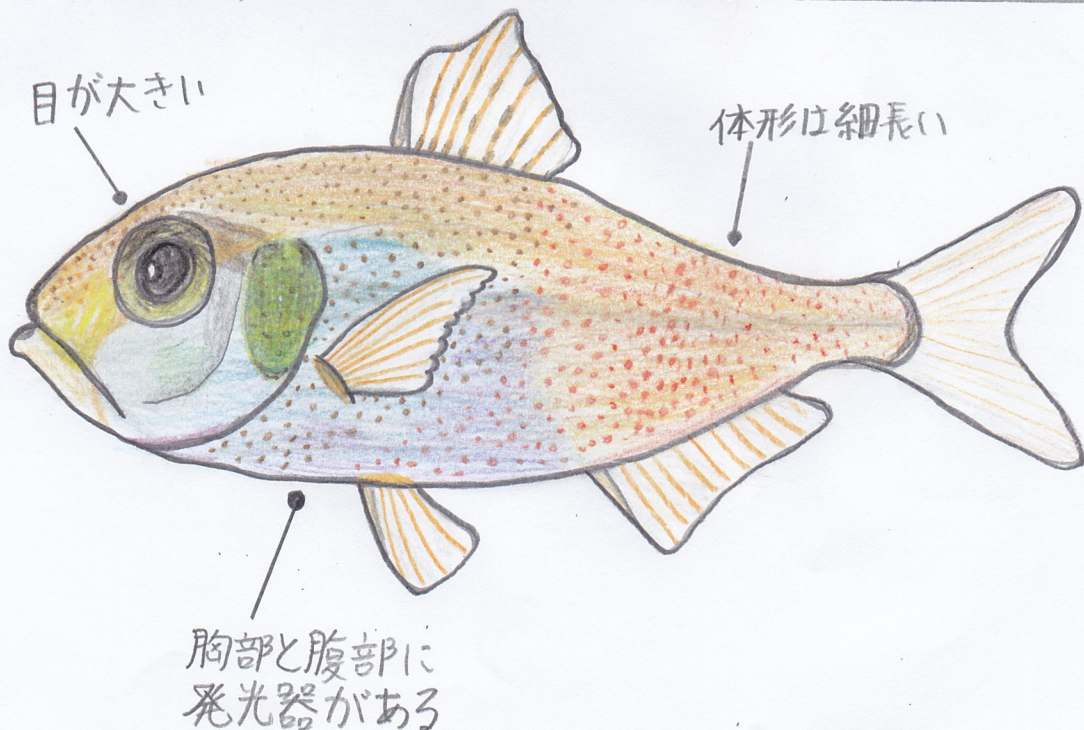


キンメモドキ

(スズキ目ハタンポ科)



キンメモドキは「キンメ」と
名前にはありますがキンメダイの
仲間ではなく、ハタンポの
仲間です。他のハタンポ類
より体が細長いのが特徴です。
夜行性で、昼間は岩かげや
サンゴのかげで大群を作ります。
胸と腹部に光る物質を出す
発光器があります。この
発光物質はウミホタル
(発光するプランクトン)を食べて
体内に取り入れてるそうです。
「モドキ」は、「似ているが違う」と
いう意味があるそうです。



コクチバス

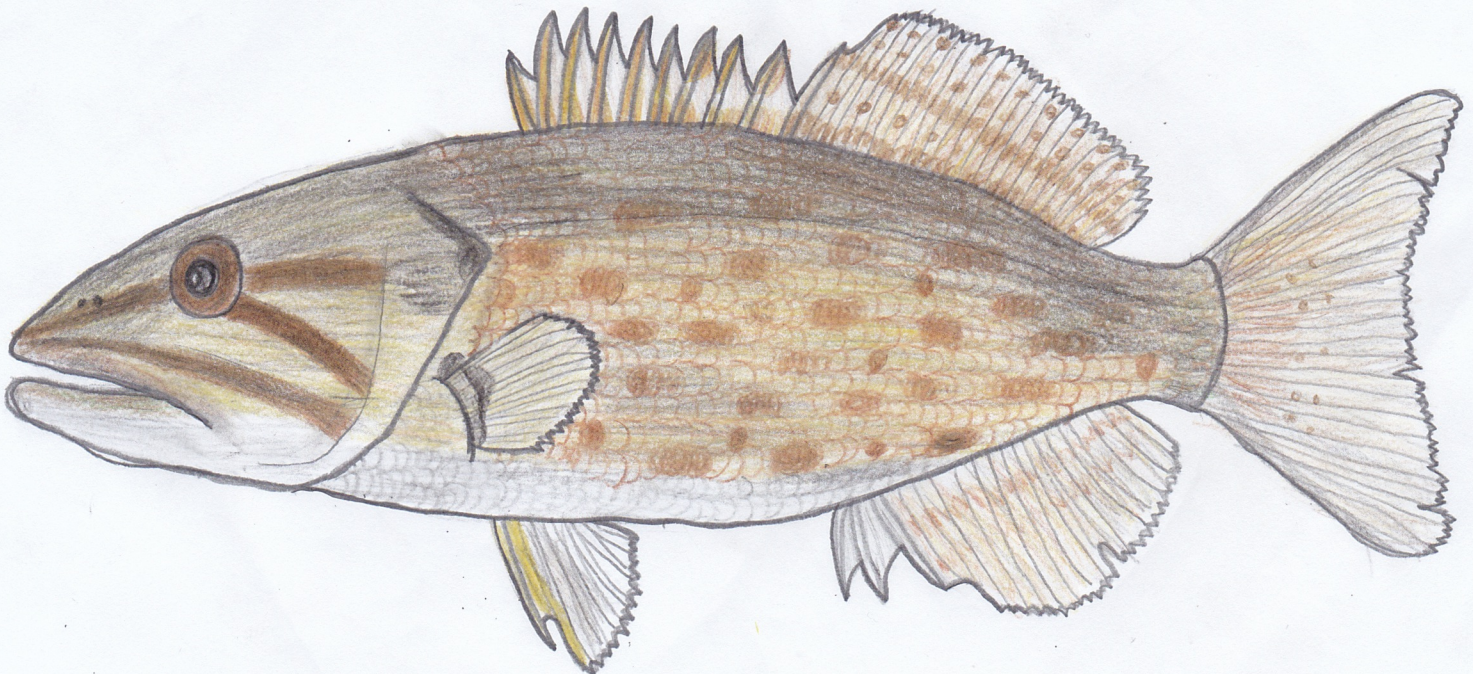
(スズキ目 サンフィッシュ科)



コクチバスやオオクチバスは、北アメリカ原産の魚です。ですが釣り魚として日本に放流され、日本各地に広がりました。

河川を中心とした在来種の食害が生態系に悪影響を及ぼしています。そのため、オオクチバスやブルーギル、チャネルキャットフィッシュと共に「緊急対策外来種」に指定されています。

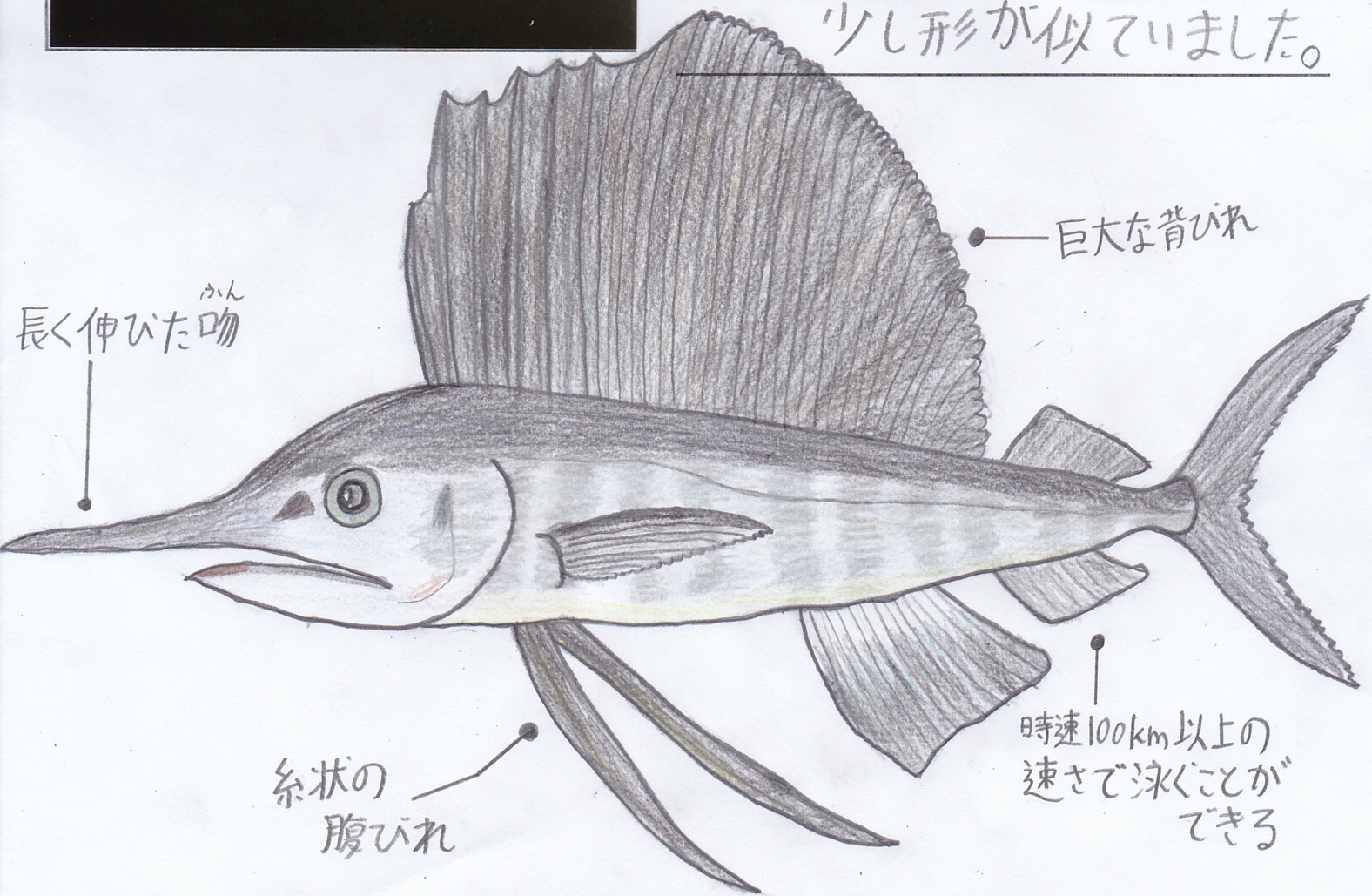
コクチバスのコクチバスは、スズキに形が似ていました。



バショウカジキ
(スズキ目マカジキ科)



バショウカジキは、大きな背びれが特徴です。
この背びれが「バショウ」(バナナに近い植物)の葉に似ていることからこの名が付けました。急旋回する時や、敵をいかくする際に使うそうです。
秋が旬で、鹿児島県では「秋太郎」の名で親しまれています。
バショウカジキのバショウカジキは、サバヤママグロの仲間に少し形が似ていました。



カマスサワラ (スズキ目サバ科)



カマスサワラは、カマス類のように吻がとがり、名前にも「カマス」と付きますが、サワラと同じサバ科の魚です。(カマスの仲間はカマス科) 体の横縞模様が特徴ですが、成長すると不明瞭になります。

サワラより大きくなり、体長が2mを超えることもあります。

カマスサワラのカマスサワラは、サワラとあまり似ていませんでした。

